

施設概要

(令和6年4月1日現在)

施設名 西白井公民館 (西白井複合センター内)		開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 児童館業務 午前9時～午後5時 図書室業務 午前9時(閲覧) 9時半(貸出)～午後5時 老人憩いの家 午前9時～午後5時		
所在地	〒270-1435 白井市清水口1-2-1	併設施設	児童館・図書室・老人憩いの家 地域包括支援センター	
TEL	047-492-1011	FAX	047-401-0282	
メール	shiroifukugou@roukyou.gr.jp			
休館日	月曜日・国民の休日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	32台(内2台障害者専用)	
職員構成 R5年4月現在	センター長1人 副センター長1人 事務職3人 児童厚生員6人 図書司書5人 夜間管理3人 合計 19人			
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)			
	施設名	定員	9:00~21:00 付帯設備	
	工芸室	24名	350円	工作机4台・椅子30脚
	調理実習室	36名	720円	調理台6台・電子レンジ2台 ガス炊飯器2台等
	作法室	40名	350円	座卓15台・座布団70枚
	研修室	30名	350円	机10台・椅子30脚
	視聴覚室	50名	780円	机8台・椅子30脚 ピアノ1台・テレビ1台等
	レクリエーション ホール	160名	970円	移動ステージ1セット・卓球台6台 バドミントンネット1セット バスケットゴール等
貸し出し 可能備品	ビデオ・机・椅子(備品の施設外貸し出し不可)			

令和5年度 公民館等団体別利用状況 (西白井公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
	月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	53	796	257	2,750	15	176	21	218	10	67	22	103	378	4,110
5	54	788	231	2,520	11	145	21	227	7	94	19	88	343	3,862
6	80	1,124	258	2,625	9	119	25	259	10	53	18	89	400	4,269
7	55	738	273	3,304	7	91	21	266	14	179	22	109	392	4,687
8	59	827	205	2,104	13	194	21	226	29	1,218	28	119	355	4,688
9	65	917	240	2,770	11	156	22	250	16	384	25	118	379	4,595
10	74	1,029	256	2,877	13	177	27	274	25	848	16	113	411	5,318
11	67	979	234	2,643	9	118	22	234	10	406	12	89	354	4,469
12	57	953	201	2,036	15	166	17	180	31	1,385	15	91	336	4,811
1	60	941	242	2,485	13	167	23	337	7	146	16	64	361	4,140
2	64	1,058	224	2,331	15	185	18	200	11	51	13	90	345	3,915
3	68	1,303	278	2,799	11	147	20	219	10	131	16	102	403	4,701
合計	756	11,453	2,899	31,244	142	1,841	258	2,890	180	4,962	222	1,175	4,457	53,565

□の合計が必ず一緒になるように各部屋の年間利用率を記入する欄を追加しましたので忘れずに記入してください。年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和5年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
工芸室	509	3,351	34.1
調理実習室	92	877	10.8
研修室	784	6,656	48.9
作法室	528	3,981	35.8
視聴覚室	856	11,449	55.5
レクホール	1,688	27,251	90.1
合計	4,457	53,565	

令和5年度西白井公民館 事業報告

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・新型コロナウイルス対策によって停滞した活動に活気を取り戻す。
- ・孤立した人々が新しいコミュニティに参画するきっかけを作る。
- ・地域に対する理解を深めることで、白井で生活する楽しさを知ってもらう。
- ・地域の方々に生きる喜びを与える。
- ・「住みやすい街西白井」にある公民館として多くの方々に利用してもらう。

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①同世代の子どもを持つ保護者同士の交友関係を広げ、お互いに支え合える環境を作る。 ②子育ての支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みを作る。 ③子育て中に直面する問題を解決する手助けとなる知識を学ぶ。
青少年教育 (2)	①性質の異なる人との交流を通して個性を認め合う人物となる。 ②様々な学習・活動に取り組むことで、学ぶことの楽しさを実感する。 ③自身の考えを伝える力を身に着け、コミュニケーション能力を高める。
成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する。 ②レクリエーションや運動により、加齢による能力の低下を予防する。 ③話し合いを通じて、地域の抱える問題の解決方法を考える。 ④現代社会において、より良く生活するための知識を身につける。 ⑤新しい分野の開拓を試みる。
団体育成 (4)	①地域で活躍する人材と協力し、活動の発展や新たな活動の創出を促す。 ②住民同士が交流し、活動に取り組むための仲間づくりの場を提供する。 ③新型コロナウイルス対策により活動が停滞した団体をサポートし、より良い活動状態を目指す。

(3) 令和5年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・親子でパン教室
- ・和菓子講座
- ・白井ネクスト5・10
- ・手芸カフェ
- ・西白井複合センターまつり

2 西白井公民館講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級講座名		回数	参加人数
家庭教育 (1)	おやこ広場（児童館共催）	①②③	10回	延べ281人
	親子体操&ママヨガ（児童館共催）	①③	1回	23人
青少年教育 (2)	親子で！科学体験教室	②③	6回	延べ72人
	キッズクラブ（児童館共催）	①②③	6回	延べ82人
	読書感想文の書き方教室（児童館共催）	②③	1回	7人
	親子でパン教室（児童館共催）	②③	2回	延べ55人
	アートで遊ぼう（児童館共催）	①②③	2回	延べ22人
	夏休み子ども工作教室（児童館共催）	①②③	2回	延べ21人
	子ども将棋教室（児童館共催）	①②③	10回	延べ59人
	レッツクッキング（児童館共催）	①②③	2回	延べ23人
	書き初め練習会（児童館共催）	①②	1回	11人
成人教育 (3)	和菓子講座	①④⑤	2回	延べ21人
	100歳まで元気！（憩いの家共催）	①②④⑤	4回	延べ66人
	白井ネクスト5・10	①②③	5回	延べ72人
	腸活き活き講座	①②④	1回	8人
	男女共同参画事業（憩いの家共催）	①②③	1回	17人
	アロマ講座	①②④⑤	1回	12人
	初心者のためのスマホ講座（憩いの家共催）	①④	2回	延べ19人
	障がい者のための学習支援	①④⑤	1回	1人
団体育成 (4)	手芸カフェ	①②	12回	延べ119人
	施設予約システム講座	②③	3回	延べ17人

(2) 講座以外に行った事業

- ・ともしびの夕べ in 白井
- ・2023年度西白井複合センター利用者連絡協議会
- ・レクホール開放
- ・第34回 西白井複合センターまつり

(3) 情報の提供

- ・ポスター掲示（自館・他館・掲示板・外部掲示板他）
- ・広報しろいへの掲載
- ・センターだより、児童館だより、自主事業ポスター掲示やチラシの配布
- ・ホームページへの掲載
- ・ブログへの掲載
- ・ミニコミ誌の活用
- ・SNS の活用（X・インスタグラム）

(4) 施設の提供

- ・生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出
- ・サロン開催や市民活動の場として、多目的室の貸出
- ・ロビーなど地域住民が交流できる場の提供

(5) 「with コロナ」「after コロナ」時代に向けた対応

- ・日々の運営で定期的な館内の環境整備や衛生管理の実施
- ・各部屋の定員を通常の数に戻し、以前の利用状態に戻す
- ・施設利用者に「管理用チェックリスト」への記入を引き続き依頼

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評 価
家庭教育 (1)	おやこ広場は、安定した参加者がいて内容も充実していた。親子体操&ママヨガは保育園に通っている1才児や2才児の方が親子で参加できないことから、次年度は親のみでも参加してもらうようにママヨガを中心に実施する。
青少年教育 (2)	親子でパン教室やレッツクッキングの食の講座は好調であった。親子で！科学体験教室の前期は申込みも多かったが後期は少なくなり、申込み方法を通年などにして工夫が必要である。子ども将棋教室は年度の途中で通年の定期講座として実施したが、参加者の人数が安定していない。次年度は工夫が必要である。他の講座は予定通り実施した。
成人教育 (3)	100歳まで元気シリーズは、タオルマッサージなど内容も工夫して開催したが、講座名によって参加者は60才以上の方々だった。40才以上の方でも十分満足していただける内容だったので、次年度では40～50代の方々の参加を促すために、講座名の再考などの工夫が必要である。障がい者のための学習支援は再考を要する。他の講座は予定通り実施した。

<p>団体育成 (4)</p>	<p>施設予約システム講座は、携帯電話の普及により、ほとんどの方が予約できていて役目を終えた。次年度は開催しない。</p>
---------------------	---

(2) 令和5年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

<p>評価</p>
<p>親子でパン教室は、昨年開催されず久々の開催となったが、相変わらずの人気で定員はすぐに埋まった。内容もパンをただ作るのではなく動物の形にするなど工夫していた。</p> <p>今年度より開催した和菓子講座は、当初年1回の開催予定であったが、人気があり、開催希望の方が多かったため、1回追加して開催した。</p> <p>白井ネクスト5・10は昨年度より早めの募集や開催時期を変えて充実した開催だった。散策などもマンネリにならないようにコースを変えて内容が充実していた。</p> <p>手芸カフェは、毎回趣向を凝らした手芸の内容で最初は少人数だったが、今年度は安定した参加人数だった。</p> <p>西白井複合センターまつりは昨年度の反省点をいかして、参加団体の方々とセンター職員が一つにまとまり協力することで、準備の時間が1時間早く終わった。キッチンカーも3台に増やし、またサポートナースの方にも健康相談をしていただき来館者に喜ばれた。次年度も今年度の反省をいかし、素晴らしいイベントにする。準備、2日間のまつり、片付け、反省会、全てに充実した内容だった。</p>

講座・学習プログラム【家庭教育】

講座名	おやこ広場（児童館共催）		
対象	乳幼児親子		
募集人数	各回20組40人	参加人数	延べ130組281人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の友達作りや居場所作りに協力しなくてはならない。 日本の伝統行事や季節を感じるものに親しむ機会が少ない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 各回テーマを決めて、季節を感じる製作物を作成する。 子育て中の保護者の方にリラックスしてもらい、製作を楽しんでもらう。 		
学習期間	令和5年4月～令和6年2月	学習場所	遊戯室、集会室、レクホール
回数	10回	講師	児童館職員
学習内容	季節を感じる製作物の作成や、イベントを開催し、乳幼児親子に楽しんでもらう。		
予算	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算 総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん連れでも楽しめるように、簡単な製作にする。 参加者が仲良くなれるように、職員が間に入った。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なので、親子で楽しむことができました。 参加者同士で仲良くなった。 季節を感じてもらったことができました。 		
備考			

講座名	親子体操&ママヨガ（児童館共催）		
対象	乳幼児とその保護者		
募集人数	10組20人	参加人数	11組23人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で、安心安全な事業を行わなくてはならない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の親子に楽しい時間を過ごしてもらおう。 ほかの親子とのコミュニケーションをはかり、育児の不安やストレスを軽減する。 		
学習期間	令和5年5月	学習場所	レクホール
回数	1回	講師	フリースポーツインストラクターAKIさん
学習内容	母親向けのヨガ講座		
予算	総額：5,366円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 366円	決算 総額：5,366円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 366円	総額：5,366円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 366円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気を配る。 母親のヨガの時間は、子どもの安全に気を配り、遊び相手になる。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 2～3歳児の申し込みが少なかつたため、急遽、保育付きのママヨガ講座に変更した。 母親に、自分だけの時間を楽しんでもらうことができた。 同じ部屋の中だが、母親と子どもが別々に活動できたので、それぞれが満足して帰宅した。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 児童館職員のほかに、いきいきボランティア2人に保育をお願いした。 		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	親子で！科学体験教室		
対象	小学生と保護者		
募集人数	各回7組14人	参加人数	延べ31組72人
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学学習に興味を持つが、直接的な実験を行う機会がない子供たちがいる。 家庭内で科学について触れる機会がない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供たちが「科学を理解する人」に育ち、ひいては「科学に理解がある人」が増えるようにする。 身近な材料を使った実験や、見えて楽しい仕掛けのある実験を行うことで、科学に対する興味を高められるようにする。 		
学習期間	令和5年5月～令和6年3月	学習場所	多目的室
回数	6回	講師	加地浩成さん・水野靖彦さん
学習内容	<p>【前期】</p> <p>5月 音の伝わり方を科学しよう</p> <p>7月 顕微鏡で自由研究</p> <p>9月 表面張力で遊ぼう</p> <p>【後期】</p> <p>11月 水ロケットを飛ばそう</p> <p>1月 偏光を利用した実験</p> <p>3月 スライムを作ろう</p>		
予算	総額：80,000円 ※うち参加者負担金 25,200円 内訳：講師料 30,000円 その他事業費 50,000円	総額：49,990円 ※うち参加者負担金 25,200円 内訳：講師料 30,000円 その他事業費 19,990円	決算
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 出欠確認（欠席の方への電話確認） 参加児童に加え、親御さんの参加もあるため、テーブルや椅子、講師用のマイク等状況に応じて準備する。 講座進行の補助。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにもあるものを使って実験や観察を行い、科学は身近にあることを感じてもらえた。 親子や兄弟と一緒に楽しい体験をしたことよって、科学を家庭での話題にしてもらうことができた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 前期は両親とお子さん各2人の4人参加が3組あったことで、参加人数が募集を上回ることになった。 		

講座名	キッズクラブ（児童館共催）		
対象	小学生		
募集人数	各回20人	参加人数	延べ82人
事業の課題と目標	<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会で互いに助け合っているような精神を培う場としなければならない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの自主性と、他者を思いやる心を養う。 いろいろな小学校の子どもたちの交流を図る。 		
学習期間	令和5年5月～12月	学習場所	レクホール 学習室
回数	6回	講師	児童館職員 しろいde あそ部の方々
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学生と乳幼児親子との交流とゲーム遊び ボードゲーム センターまったり準備（3回） センターまったりお屋さん 		
予算	総額：7,500円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 2,500円	総額：7,222円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 2,222円	決算
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが上手くコミュニケーションを取れるよう、全体に目配りする。 環境を整える。 熱中症に気を付ける。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 小学生と乳幼児との交流では、他者を思いやる心が培われた。 小学生に友達と協力して活動する楽しさを味わってもらうことができた。 センターまったりでは、店を開き、地域の方々と交流をすることができた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数内訳：小学生 52人 乳幼児 15人 大人 15人 		

講座名	読書感想文の書き方教室（児童館共催）		
対象	小学1年生～4年生	参加人数	7人
募集人数	8人	参加人数	7人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> 読書に取り組み、楽しいと感じるようになるきっかけがない。 読書に取り組み、読書を書くのが難しい。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> 読書感想文という課題を通じて、本を読むことの楽しさを知る。 自分の感じたことを文章にする方法を学び、自身の考えを表現する。 		
学習期間	令和5年7月	学習場所	研修室
回数	1回	講師	学校司書経験者 倉知 美早さん
学習内容	ワークシートを使って、読書感想文の作成に取り組む。		
予算	総額： 5,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 0円	総額： 5,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 0円	決算 総額： 5,000円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 過密にならないようにしつつも、講師が指導しやすい座席配置を心がける。 作成に悩んでいたら、感想が思い浮かぶように声かけをする。 集中して取り組めるように配慮する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> お願いでいたように全員本を事前に読んできけてくれた。 最初に講師が本を読んで、どのような感想があるか参加者に聞くことで、感想文を書くことのイメージがつかめた。 2時間におわたって懸命に感想文作成に取り組めた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 昨年は後日補講を行ったが参加者が少なかったし、今年も1年生には父兄も同伴してくれてスムーズに進んだので補講はおこなわなかった。 		

講座名	親子でパン教室（児童館共催）		
対象	小学生とその保護者	参加人数	延べ24組 55人
募集人数	各回12組24人	参加人数	延べ24組 55人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ジャンクフード等が手軽に食べられるようになり、食への関心が薄れてきている。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> パン作りを通して作る楽しさを知り、食への興味を深める。 親子での参加により、コミュニケーションを図ってもらおう。 		
学習期間	令和5年7月～令和6年3月	学習場所	調理実習室
回数	2回	講師	佐藤加代子さん、斉藤とし子さん
学習内容	親子で楽しく動物パン作りをする。		
予算	総額： 22,000円 ※うち参加者負担金 12,000円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 12,000円	総額： 22,000円 ※うち参加者負担金 12,000円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 12,000円	決算 総額： 22,000円 ※うち参加者負担金 12,000円 内訳：講師料 10,000円 その他事業費 12,000円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 講師の先生と親子をつなぐ。 どの工程も親子で体験できるように配慮する。 参加者がやけどしないように注意する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 自分で最初から最後まで何かを作る楽しさを感じてもらえた。 親子で協力してパンを作る楽しさを感じてもらえた。 		
備考	ボランティア1人に協力してもらった。		

講座名	アートで遊ぶ (児童館共催)		
対象	小学生		
募集人数	1回12人、2回4人	参加人数	延べ22人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アートの側面からの表現力、想像力を養う場が少ない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個性を引き出し、作品に投影させる。 ・アートを通じて新たに興味関心を持つ分野へのきっかけ作りをする。 		
学習期間	令和5年7月～8月	学習場所	工芸室
回数	2回	講師	河上早百合さん、白井恵子さん
学習内容	1回目 パステルアート 2回目 エコラップ作り		
予算	総額：8,600円 ※うち参加者負担金：3,600円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 3,600円	決算	総額：8,600円 ※うち参加者負担金：3,600円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 3,600円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の補助をし、児童と講師をうまくつなげる。 ・児童が楽しく製作できるように配慮する。 		
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で工夫して製作を楽しむことができた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目のパステルアートは、ボランティアの大学生に手伝ってもらった。 		

講座名	夏休み子ども工作教室 (児童館共催)		
対象	小学3年生～6年生		
募集人数	各回10人	参加人数	延べ21人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・完成までに時間のかかる工作に、集中力が保てない子や、難しいと感じている子どもたちに 対して、工夫して対応する必要がある。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもとは異なる複雑な工作に挑戦し、一つのものを作り上げる達成感、楽しさを実感して もらう。 		
学習期間	令和5年7月	学習場所	工芸室、研修室
回数	2回	講師	近藤雅昭さん
学習内容	輪ゴム動力工作「カエルのバックン貯金箱」作り		
予算	総額：1,3980円 ※うち参加者負担金：3,150円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 8,980円	決算	総額：13,980円 ※うち参加者負担金：3,150円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 8,980円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の補助をする。 ・安全に楽しく、熱中症に気を付けて工作ができるように配慮する。 		
事業の成果 (課題や目標に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と児童館職員のほかにボランティアが入り、難しい工程を手伝ってもらったので、全員 が作品を完成させて持ち帰ることができた。 ・複雑な工作に挑戦し、完成させたことにより、達成感を味わうことができた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの大学生、先生の友人、大山口中学校ボランティア部の生徒2人に手伝ってもらった。 		

講座名	子ども将棋教室（子ども将棋のじかん）（児童館共催）		
対象	小学生、中学生	参加人数	延べ59人
募集人数	各回10人	参加人数	延べ59人
事業の課題と目標	<p>・将棋を学びたい子どもの居場所作りと、将棋を多くの人に知ってもらいたい大人の多世代交流をする場が少ない。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを知ると同時に、社会性を身に着ける。 ・地域のつながりを深め、将棋という文化の普及と伝承に努める。 		
学習期間	令和5年7月～令和6年3月	学習場所	作法室、学習室
回数	10回	講師	7、8月 白井将棋愛好会の方々 9月以降 いきいきボランティア
学習内容	初心者には将棋のルールを学び、経験者は対局しながら技術を磨く。		
予算	総額： 5,300円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 300円	総額： 5,300円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 300円	決算 総額： 5,300円 ※うち参加者負担金： 0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 300円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・暑いので、空調管理に気を付ける。 ・対戦相手がない子どもの相手を探す。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・対局前後の挨拶等の礼儀作法を、将棋を通じて学ぶことができた。 ・様々な大人と対局することにより、将棋の世界の視野が広がった。 ・初心者の児童に将棋の面白さを知ってもらうことができた。 		
備考	夏休みに白井将棋愛好会の方々に将棋教室を開催してもらったところ、好評だったので、9月以降はいきいきボランティアの方にお願いで、毎月一回「将棋のじかん」を開催した。講師料は白井将棋愛好会で発生した。		

講座名	レッツクッキング（児童館共催）		
対象	小学生	参加人数	延べ23人
募集人数	各回12人	参加人数	延べ23人
事業の課題と目標	<p>・ジャンクフード等が手軽に食べられるようになり、食への関心が薄れてきている。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理を通して作る楽しさを知り、食への興味を深める。 		
学習期間	令和5年10月、令和6年2月	学習場所	調理実習室
回数	2回	講師	児童館職員
学習内容	1回目 ステンドグラスクッキー作り 2回目 チョコポップ作り		
予算	総額： 6,000円 ※うち参加者負担金： 6,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 6,000円	総額： 6,354円 ※うち参加者負担金： 6,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 6,354円	決算 総額： 6,354円 ※うち参加者負担金： 6,000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 6,354円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのやけどに気を付ける。 ・作業台に低学年と高学年を組み合わせて、（できれば）高学年に手伝ってもらおう。 ・後片付けは、協力してできるように声をかける。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年が多かったが、楽しく作業できていた。 ・参加した児童から、「楽しかった」「また参加したい」との言葉をいただいた。 		
備考	両日とも、ボランティアの大学生に手伝ってもらった。		

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	和菓子講座		
対象	一般		
募集人数	1回10人、2回12人	参加人数	延べ21人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「和」に対する興味や関心が薄れている。 新しい学習に取り組もうと思っても、難しく感じる人が多い。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節に合った和菓子を作ること、伝統的な和菓子を知ってもらう。 楽しく簡単にものづくりに参加してもらい、生涯学習への興味を高める。 		
学習期間	令和5年4月～10月	学習場所	調理実習室
回数	2回	講師	さつまや 渋谷竜一さん
学習内容	4月、10月ともに「練り切り」と「きんとん」をそれぞれ2個ずつ、成形と仕上げを行った。		
予算	総額：15,250円 ※うち参加者負担金11,000円 内訳：講師料 14,000円 その他事業費 1,250円	決算	総額：15,838円 ※うち参加者負担金 11,000円 内訳：講師料 14,000円 その他事業費 1,838円
事業参加者への配慮等	・各自、テーブルに置かれた材料一式を確認してもらう。 ・全員が楽しく和やかな雰囲気になるよう、気を配る。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・成形のコツをつかむのが難しく、各テーブルで交流を深めつつ講師の助言をもらいながら楽しく作業が出来ていた。 ・和菓子を通して、春と秋の季節を感じてもらえた。 ・講師への質問などから和菓子への興味が深まった様子がうかがえた。		
備考			

講座名	書き初め練習会（児童館共催）		
対象	小学生		
募集人数	12人	参加人数	11人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬休みの宿題の書き初めを、家庭でおこなうことが困難な小学生がいる。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 書道に真摯に取り組んでいるサークルの講師、会員のみなさんの指導のもと、少しでも上手に、納得できる作品を仕上げる。 		
学習期間	令和5年12月	学習場所	遊戯室
回数	1回	講師	田中恵粋さん、親和会書道部の方5人
学習内容	冬休みの宿題の書き初めを練習し、清書まで仕上げる。		
予算	総額：5,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 0円	決算	総額：5,000円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 5,000円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	・講師の先生方の補助をする。 ・児童と先生をつなぐ。 ・子どもたちのやる気や集中力が続くように声をかける。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・講師が前もって参加者の名前のお手本を書いてくれたので、子どもたちのやる気につながった。 ・全員が納得できる作品を仕上げる事ができた。		
備考			

講座名	100歳まで元気！（憩いの家共催）		
対象	一般		
募集人数	1回30人、2回20人、3回20人、4回20人	参加人数	延べ66人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白井市の高齢者の割合は約28パーセントで今後も増加が見込まれるので、長寿のために準備しなければならない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアの方々、およびご家族に役立つ情報を提供する。 ・一人では継続が難しいことも、仲間と続けることにより、仲間作りにも役立ててもらおう。 		
学習期間	令和5年6月～10月	学習場所	レクホール、視聴覚室、研修室
回数	4回	講師	駒崎 優さん、地域包括支援センター、高齢者福祉課、健康課
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・6月15日（木）タオлмаツサーヂ講座 ・7月14日（金）介護保険制度、介護認定、介護サービスの種類の説明、「もしバナゲーム」 ・9月15日（金）脳トレ体操 ・10月27日（金）フレイル予防、体組成計測定 		
予算	<p>総額：7,144円</p> <p>※うち参加者負担金：0円</p> <p>内訳：講師料 5,000円</p> <p>その他事業費 2,144円</p>	決算	<p>総額：7,144円</p> <p>※うち参加者負担金：0円</p> <p>内訳：講師料 5,000円</p> <p>その他事業費 2,144円</p>
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・1回～4回：換気、こまめな水分補給、参加者の様子にそれとなく目を配る。 ・体組成計測定時、参加者がバランスを崩さないよう気を配り、必要に応じ手助けをする 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・1回：タオлмаツサーヂをすることで、血流が良くなっていくのを実感した。 ・2回：介護保険、介護サービスの質問が相次いだ。もしバナゲームは、皆さん和気あいあいの雰囲気盛り上がりがあった。また、もしもの時の思いを真剣に取り組み確認されていた。 ・3回：認知症予防のための脳トレ体操は継続が最も大事だと再認識されていた。 ・4回：認知症の前段階のフレイル予防の3つのポイント、食事のポイントを聞いた。 ・各回とも参加者の関心は高く、シニアの方々々に役立つ情報を提供したいとの目標は十分成果があったと実感している。 		
備考			

講座名	白井ネクスト5・10		
対象	市民		
募集人数	各回20人	参加人数	延べ72人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsがどのような目標なのか周知されていない。 ・専門家から知識を得る機会が少ない。 ・市民でも白井市の歴史や現在の取り組みについて詳しく知る機会が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白井の5年後、10年後の未来のために、今何をすべきかを考える。 ・環境問題に関心を持ち、市民として環境を意識して生活してもらおう。 ・白井市の歴史や自然に触れ、現状を知ってもらおう。 		
学習期間	令和5年7月～令和6年3月	学習場所	視聴覚室、多目的室、調理室、白井市文化センター周辺他
回数	5回	講師	千葉県生物多様性センター、東邦大学准教授 安立美奈子先生、白井市環境課環境保全係、千葉県地球温暖化防止活動推進員、しろいふるさとガイドの会 市川善美さん
学習内容	<p>環境基本計画等に基づき、専門講師を呼びSDGsに関連する講座を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生物多様性と外来生物を学ぼう」…自然環境を親子で学ぶ。 ・「親子で省エネクッキング！」…地球環境を意識した料理を親子で学ぶ。 ・「SDGs みんなで目指すゼロカーボンシティ」…世界が掲げる脱炭素の現状と白井市での取り組みを知り、自分たちが今後何をすべきかを考える。 ・「白井みよりよく発見！」散策・歴史…市内の歴史を学び、自身で今を見て歩く。 		
予算	<p>総額：35,500円</p> <p>※うち参加者負担金20,000円</p> <p>内訳：講師料 20,000円</p> <p>その他事業費 15,500円</p>	決算	<p>総額：33,924円</p> <p>※うち参加者負担金 13,000円</p> <p>内訳：講師料 20,000円</p> <p>その他事業費 13,924円</p>
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏開催が多いので、空調管理や声かけなどで体調管理に気を付けた。 ・興味を持ってもらうためにポスターや声かけをした。 ・野外学習時は事故やケガの無いよう気を配り、周囲をよく確認した。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・専門講師から最新の情報を得て、環境や資源に対する知識とその問題に関心を持ってもらえらる学習ができた。 ・白井市の歴史や現状を理解し、未来のために何ができているかを考えてもらう機会を作れた。 		
備考			

講座名	腸活き活き講座		
対象	市内在住者		
募集人数	10人	参加人数	8人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・腸について、もっと知りたいと思うシニア世代がいる。 ・日頃から健康に関心がある方が多い。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・腸内細菌などの知識を得ることで、健康的に日々を過ごせるようにする。 ・日本の平均寿命が延びるなかで、健康な状態で長生きできるように健康寿命に興味を持ってもらう。 		
学習期間	令和5年9月	学習場所	研修室
回数	1回	講師	千葉県ヤクルト販売株式会社 食生活アドバイザー 齋藤幸子さん 榊 豊子さん
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで、ヤクルト工場の見学をした。 ・ヤクルトについて、楽しく質問をしたり答えたりした。 ・教室では、腸の働きや健康寿命の話聞く。 ・東京音頭を踊り、運動の大事さを教わった。 		
予算	総額：0円	決算	総額：0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン、パワーポイントが見えやすいように、暗幕を閉めたり照明を調整したりした。 ・体を動かすことができるように、参加者間の距離を確保した。 ・部屋の空調が冷えすぎないように気をつけた。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容をメモし、質問をするなど活発に意見交換が行われた。 ・ビフィズス菌により腸を活性化させることで、癌やあらゆる細菌に対して免疫効果が高められることを理解することができた。 ・健康寿命をできるだけ長くするためのヒントが得られたのではないかと思う。 ・受講者の質問事項にも説明しながら回答があり、分かり易い講座だったと感想があった。 ・ヤクルト工場の見学を通して、衛生管理がしっかりとされていて安心して安心できるとの意見もあった。 		
備考			

講座名	男女共同参画事業 エンディングノートを書いてみよう（親いの家共催）		
対象	市内在住者		
募集人数	15人	参加人数	17人
事業の課題と目標 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・急な家族の逝去により、故人の遺志が確認できないことがある。 ・家族同士、どのような家庭を築きたいか改めて話し合う機会がない。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・亡くなったときの対応を決めておくことで、相続等のトラブルを回避する。 ・エンディングノートを書くことを通じて、家族がどのような思いを抱いているか知る機会を作る。 		
学習期間	令和5年9月	学習場所	視聴覚室
回数	1回	講師	千葉県金融広報委員会 渡辺一江さん
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人生のエンディングに向けて（終活） ・終活の意識と実態調査 ・エンディングノートについて ・相続について ・遺産相続と遺言書 ・エンディングノートと遺言の違い 		
予算	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・風通しの良い間隔を保った机の配置にする。 ・書き込みもしやすい冊子で文字を大きくした資料を配布する。 ・テキストの冊子と書き込みの冊子と別々にホチキスでとめまとった配布物を提供できた。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は極めの細かい詳しい説明で、参加者の心をつかんでいた。 ・最後の15分間は全体的に質問時間を設けて、ゆとりを持った講座であった。 ・アンケートでも「わかりやすかった」と参加者に好評だった。 		
備考			

講座名	アロマ講座 ～さわやかな秋に向けてアロマクリーム作り～		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	12人
事業の課題と目標	<p>・特に季節の変わり目に病院に行くほどではないが、何かしらの不具合を感じている人は少なくない。</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 精油の効能を学んで各自が好きな精油を選び、不調の改善や病気の予防、さらに美容に取り入れることで、より健康な生活を目指す。 趣味を同じくする人と出会う機会を作る。 		
学習期間	令和5年10月	学習場所	研修室
回数	1回	講師	アロマインストラクター 河野真理さん
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なアロマの説明、準備して頂いた約20種類の精油の効能を聞く。 それぞれの香りを嗅ぎ、各自がお気に入りの精油を決め、アロマクリームを完成させた。 		
予算	総額：7,000円 ※うち参加者負担金 12,000円 内訳：講師料 7,000円 その他事業費 0円	決算 総額：7,000円 ※うち参加者負担金 14,400円 内訳：講師料 7,000円 その他事業費 0円	
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 精油の種類が多いため、参加者に均等にいき渡っているか気を配る。 戸惑っている参加者がいないか、目を配る。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 精油の効能を学んだ後、香りを嗅ぎ各自の不調改善に効能がある精油を選んだことで、より健康な生活を目指すという目標は達成できた。 参加者同士が精油を選びながら楽しそうに会話が弾んでいた。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 広報しろいにおける記載の内容により、申し込み頂いた方にご迷惑をかけた。次回への反省としたい。 		

講座名	初心者のためのスマホ講座（憩いの家共催）		
対象	市内在住者		
募集人数	各回10人	参加人数	延べ19人
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンに興味があってもうまく使いこなせない方が多い。 人と人との直接コミュニケーションをとる機会が減っている。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンの基本的な使い方を体験しながら学ぶ。 スマートフォンを使いこなすことで対面以外のコミュニケーション方法を増やす。 		
学習期間	令和5年10月	学習場所	研修室
回数	2回	講師	ソフトバンク公認スマートフォンアドバイザー
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンの基本的な使い方を体験しながら学ぶ。 コミュニケーションのアプリを体験しながら学ぶ。 		
予算	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算 総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> 間隔を保った機の配置をする。 講座で使用するスマートフォンは、講師持ち込みの専用機になることを説明する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> 午前はスマホ基本とコミュニケーション体験ということで、実際にアプリを使い説明してもらった。午後はスマホの基本、LINE、写真の撮り方、Siriの説明が行われた。 説明もわかりやすく皆さん積極的に質問していた。 次回を要望される方も多かったため、引き続き講座を継続して実施するようにしたい。 		
備考			

講座・学習プログラム【団体育成】

講座名	手芸カフェ		
対象	手芸が好きな人		
募集人数	各回10人	参加人数	延べ119人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸をする時間や場所が持てない人のために居場所が少ない。 ・同じ趣味の人との関わりを持てるような共通の居場所が少ない。 ・作品に挑戦し完成した時の満足感を得られるようにしなければならない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸が出来る居場所として、気軽に交流できる場を作る。 ・地域の人のコミュニケーションを図る。 ・手指を使う楽しいこととして脳を活性化させる。 		
学習期間	令和5年4月～令和6年3月	学習場所	多目的室
回数	12回	講師	西白井複合センター職員
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3日曜日に手芸の持ち込み作成の場を提供。 ・各月に1つ手芸キットの提供と制作の手伝い。 <p>キット内容：「フランス刺しゅう体験」「UV レジンでアクリルスタンド作り」「サンキョウチャャー作り」「秋の吊るし飾り作り」「小さい織機で小物作り」「干支の簡単押絵作り」「ペーパークイリング体験」「ペーパークラフト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食の販売 		
予算	総額：100,000円 ※うち参加者負担金 内訳：講師料 0円 その他事業費 100,000円	総額：93,984円 ※うち参加者負担金 内訳：講師料 0円 その他事業費 93,984円	84,000円 決算 78,250円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて会った人同士で会話出来るように気を配る。 ・手芸に興味があるのに手元に作りたい作品がない人のために、各月に興味がありそうな手芸を用意し参加募集する。 ・飲み物やお菓子を提供して和やかにできる場を作る。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・開催から2年目になり参加者同士の会話が增え、毎月楽しみにして来られる人が増えた。 ・各月のキット提供では、経験のない様々な手芸が出来て楽しいと書かれている。 ・教わらないと出来ないという人のやる気に繋がる機会を提供できた。 ・月に1回だが、定期的に通う交流場の提供が出来た。 		
備考			

講座名	障がい者のための学習支援		
対象	障がい者		
募集人数	3人	参加人数	1人
事業の課題と目標	<p>事業の課題と目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の方が学校を卒業し、社会へ出たあとの居場所づくりがない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパークラフトの講座を通して、障がい者の方が公民館へ気軽に来館していただけるようなきっかけ作りをする。 		
学習期間	令和6年1月	学習場所	多目的室
回数	1回	講師	寄本邦義さん
学習内容	難易度別のペーパークラフト紙で動物などを作成する。		
予算	総額：2,000円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 2,000円	総額：1,051円 ※うち参加者負担金 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 1,051円	0円 決算 0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・教材は難易度別にしてクリップでまとめて提供した。 ・教材によっては表裏印刷をした。 ・事前に教材研究をして、きめの細かい的確な指導ができた。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導により早く理解できた。 ・最初に比較的簡単な教材を選んで、最後まで完成できる満足感を与えた。 		
備考			

事業活動

事業名	ともしびのタベ in 白井		
対象	一般		
参加人数	1726人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災から令和6年3月で13年が経過し、当時の記憶が風化しつつある。 ・地震などの自然災害について常に備えておく必要がある。 ・白井市住民同士の交流をはかる場が少ない。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白井市内の各地に紙とろうろを並べ、東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す。 ・東日本大震災当時の様子について知ることで、災害に対する危機感を高める。 ・児童や公民館利用者にロウソクの風よけを作成してもらい、地域住民の交流をはかる。 		
期間	令和5年4月～令和6年3月	回数	14回
場所	西白井複合センター、桜台センター、白井文化会館、三本松公園		
事業内容	<p>市内の保育園、幼稚園、各小中学校の園児、児童、生徒と市民の方々に3000個を超える紙とろうろの作成してもらい、西白井複合センター、白井駅前泉、桜台センター、白井文化会館、三本松公園でイベントの日にとろうろを灯す。</p> <p>西白井複合センター、桜台センター、白井文化会館は追悼のためのコンサートなどを行う。イベント日には募金箱も設置して協力を募る。</p>		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員が活動しやすいように情報の共有に努める。 ・実行委員の取り組みたいことが実現できるように、相談先等の情報を提供する。 ・運営がスムーズにできるよう、情報共有に協力する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・白井市文化団体協議会との共催により「あかりアートフェスタ」を行うことができた。自粛した生活も緩和になりたくさんの方が追悼し、災害に対する準備の関心も深めた。 ・「ともしびのタベ in 桜台」ではコンサートを催し、多くの方が追悼し、災害に対する準備の関心も深めた。 ・3月の「ともしびのタベ in 白井」ではたくさんの方々身近で起こった能登半島地震の関心を深め、被災地の災害復興の協力を考えてもらった。地域の災害に対する準備の関心も再確認してもらった。 		
備考			

講座名	施設予約システム講座 ～スマホver		
対象	市民		
募集人数	各回8人	参加人数	延べ17人
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンからだけでなくスマートフォンで施設予約をする機会が増えたが、使いこなせない人が多い。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークルや団体が主体として予約システムを使いこなせるようにする。 		
学習期間	令和6年2月	学習場所	研修室
回数	3回	講師	西白井複合センター 職員
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設予約システム2/7『抽選の申込』2/21『抽選結果の確認と確定』2/28『随時申込』を「簡易版」を使い、3回に分けて実施 		
予算	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	総額：0円 ※うち参加者負担金：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・花粉が多い時期なので、空調管理や声かけなどで体調管理に気を付けた。 ・途中でついていけないようなら声掛けして解決していく。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに映した予約画面を見ながら、講師の説明や資料を参考にして実際に申し込み等をしてもらった。 ・ホームページ画面の出し方から入力の方、抽選申し込みのスケジュールや支払期間などを理解してもらえた。 ・サークルで施設予約担当を引きついだが、マニュアルがなく困っていた人たちの役に立った。 		
備考			

事業名	2023年度西白井複合センター利用者連絡協議会		
対象	一般		
参加人数	27人		
利用者連絡協議会の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センター長から新副センター長の紹介をする。 ・今年度の動向についてのお知らせと次年度への諸注意とお願い。 ・センターまつりを実施するため、準備会議の日程を決める。 ・センターまつりを実施するか決定する。 ・実施なら開催時期と今後の日程を決める。 ・実施なら飲食をするかどうかを決める。 		
期間	令和5年7月	回数	1回
場所	西白井複合センター 視聴覚室		
事業内容	団体活動で利用するときの諸注意の連絡をして円滑に利用できるようにする。		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の紹介をする。ワイヤレスマイクを使用し、意見者の意見が伝わるようにした。 ・昨年度の反省記録を参考に課題を積極的に話し合った。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の自己紹介をして、それぞれのサークル活動を互いに知ってもらった。 ・センターまつりの今後の日程は参加者募集7/2～8/31、第1回調整会議9/17、第2回調整会議10/29、反省会12/17にそれぞれ決定した。 		
備考			

事業名	レクホール開放		
対象	18歳以下の子どもと保護者		
参加人数	延べ88人		
事業の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の遊戯室は狭いので、一人一人がのびのび遊ぶには限界がある。 		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・広い部屋で、普段児童館ではできない運動を楽しむ。 ・運動遊びを通じて、異年齢の子どもの交流を推進する。 		
期間	令和5年8月～令和6年3月	回数	4回
場所	レクホール		
事業内容	バドミントン、バスケットボール、バレーボール、縄跳び等、参加者が自由に遊ぶ。		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・けがのないよう、注意して見守る。 ・熱中症に気を付けて、水分補給を呼び掛ける。 ・一人で参加している児童も楽しめるように配慮する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館では、バスケットボール等の本格的なボール遊びができないので、ボールを使った遊びをとても楽しんでいった。 ・大縄跳びで異年齢児童の交流を楽しむことができた。 ・レクホール使用後の後片付けを、協力して行うことができた。 		
備考			

事業名	第34回 西白井複合センターまつり		
対象	一般		
参加人数	1,547人		
事業の課題と目標	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当館周辺の地域住民が自粛生活から復活し元気を出してもらいたい。 ・当館を利用するサークルが継続して活動し頑張っている姿を見て参加してもらいたい。 ・様々な年代層の方に当館に来館してもらいたい。 <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者から子どもまで楽しめる催しを開催し、地域住民同士の親睦を深める。 ・各サークルが学習の成果を発表することで、お互いの活動を知り交流を図る。 ・各サークル同士で協力してまつりを盛り上げて連帯感を持つ。 		
期間	令和5年12月	回数	2回
場所	西白井複合センター 全館		
事業内容	団体活動発表、展示、活動体験、模擬店、販売、DVD 視聴、将棋対局		
事業参加者への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が来場したくなるような楽しく、安全、安心の催しになるようにする。 ・多くの参加者が納得のできる発表を行えるよう段取りを話し合い準備する。 ・準備、片付けなどセンター職員から参加者への支持を徹底する。 		
事業の成果（課題や目標に対して）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年はコロナ禍で部屋の定員などが抑えられたが、今年思いっきり実施が実現できた。 ・今年もサポートナースの方を手配し、安全安心なセンターまつりで健康相談も実現できた。 ・キッチンカーを3台にして品数や値段も手ごろで好評だった。 ・自粛生活があけて、昨年より来館者が多く関心を持っていただいた。 		
備考			